

第2章 八千代市の子ども・子育てをとりまく状況

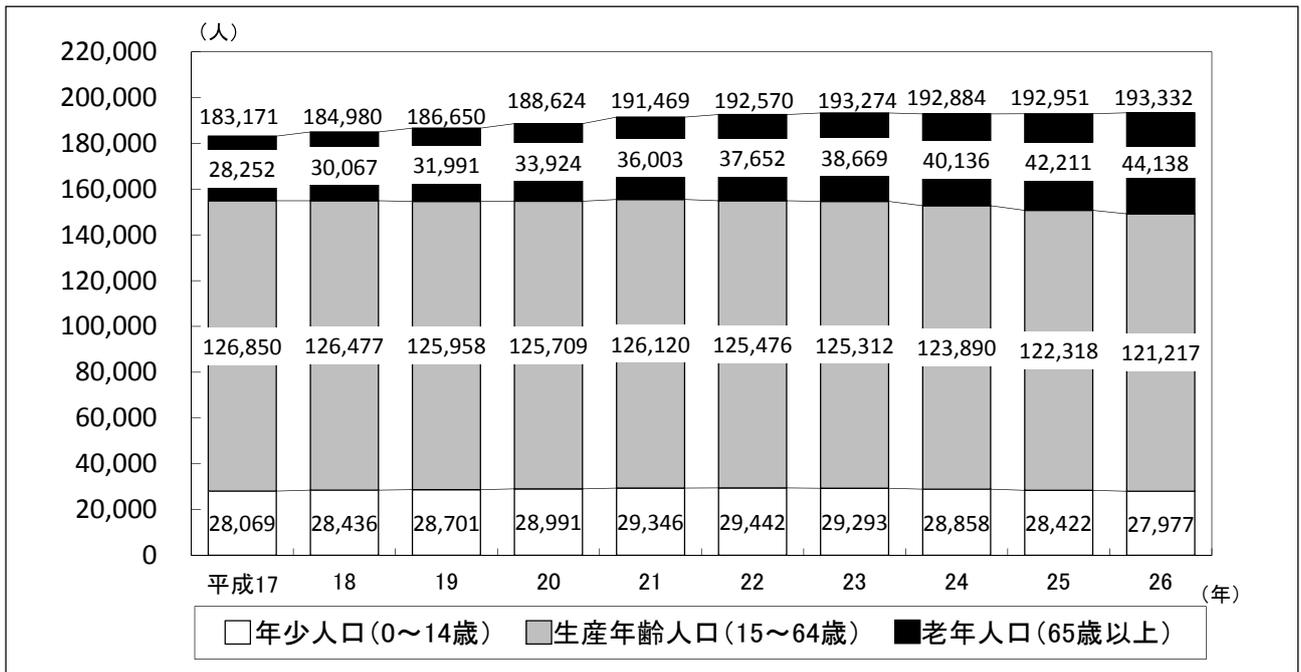
1. 人口の推移（年齢3区分別人口及び構成比の推移）

八千代市の人口は微増傾向を示しており、平成26年3月末現在、193,332人となっています。

平成26年3月末現在の年少人口は27,977人で、次世代育成支援行動計画（前期計画）の初年度である平成17年と比べて、ほぼ横ばいとなっています。構成比別に見ると、65歳以上の老年人口が22.8%となり、少子高齢化が進んでいます。

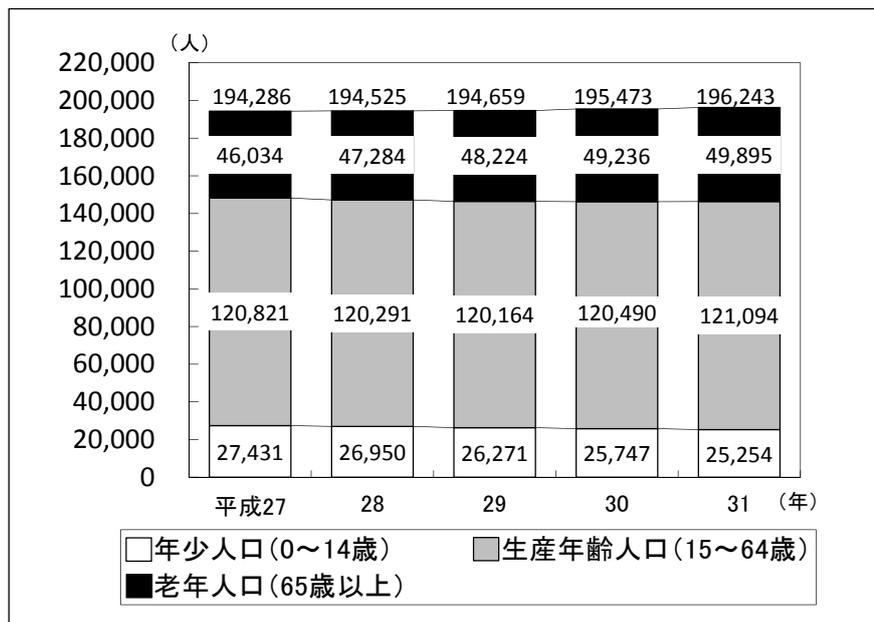
子ども・子育て支援事業計画の終了年次である平成31年までの人口推計では、年少人口は12.9%まで減少し、今後も減少傾向にあることが推計されています。

●総人口・年齢階層別人口の推移（八千代市）



資料：総合企画課「町丁別人口集計（外国人を含む）」各年3月末現在

●子ども・子育て支援事業計画の計画期間の人口推計（八千代市）



資料：総合企画課「八千代市将来人口調査報告書（平成25年10月）」各年4月1日現在

2. 世帯の状況

母子世帯は 911 世帯、父子世帯は 142 世帯となっています。

●世帯の家族類型別一般世帯数及び1世帯当たり親族人員並びにひとり親世帯の状況（八千代市）

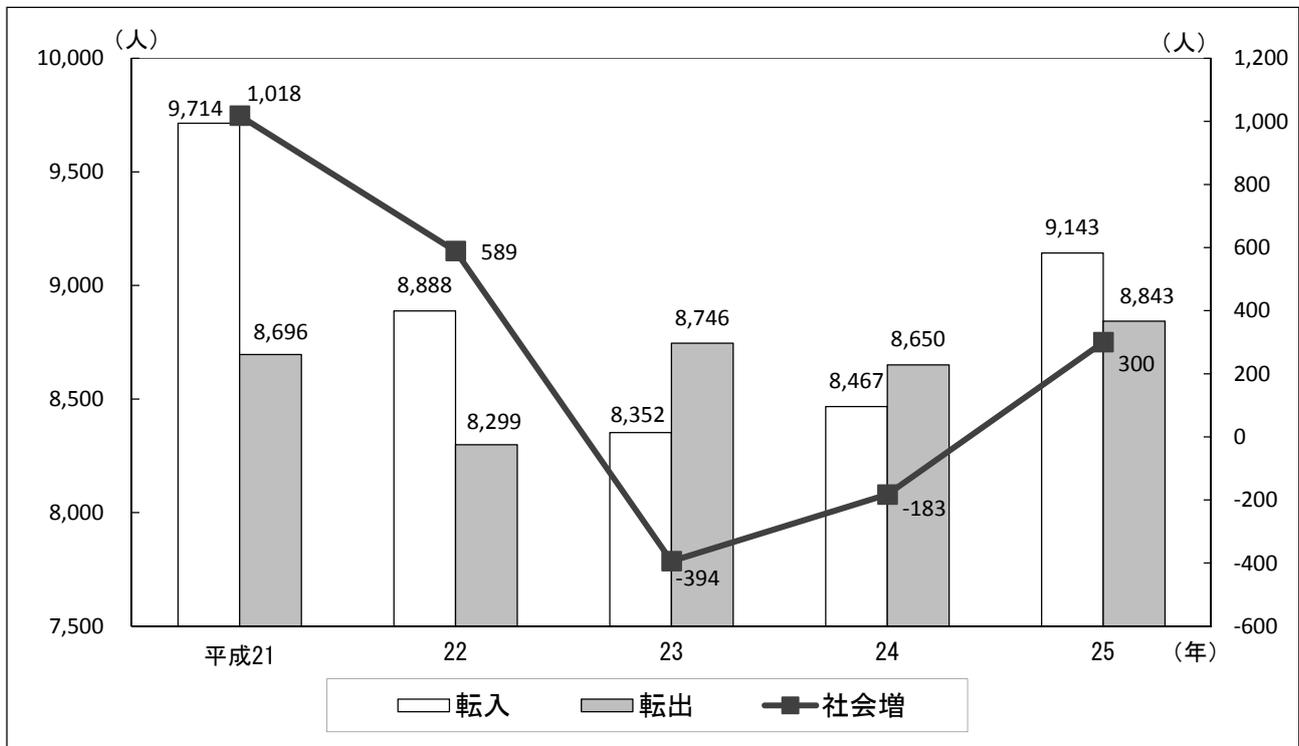
平成22年 国勢調査	一般世帯数	一般世帯 人員	1世帯あたり の親族人数	6歳未満親族のいる一般世帯			18歳未満親族のいる一般世帯			3世代世帯	
				世帯数	世帯人員	6歳未満	世帯数	世帯人員	18歳未満	世帯数	世帯人員
総数	74,765	186,785	2.50	8,807	33,565	11,215	20,570	78,873	34,298	2,935	14,141
親族世帯	54,314	165,010	3.04	8,771	33,387	11,170	20,434	78,321	34,090	2,922	14,066
核家族世帯	49,869	146,417	2.94	8,136	30,086	10,384	18,505	68,750	31,038	-	-
その他の親族世帯	4,445	18,593	4.18	635	3,301	786	1,929	9,571	3,052	2,922	14,066
非親族世帯	833	2,157	2.59	36	178	45	128	544	200	13	75
単独世帯	19,618	19,618	1.00	-	-	-	8	8	8	-	-
母子世帯	911	2,364	2.59	169	454	186	829	2,196	1,284	-	-
父子世帯	142	362	2.55	18	45	20	123	324	187	-	-

資料：国勢調査（平成 22 年）

3. 転入転出者の状況

平成 23 年度から平成 24 年度にかけて転入者数が転出者数を下回りましたが、平成 25 年度には転入者数が転出者数を上回っています。

●転入転出者の状況

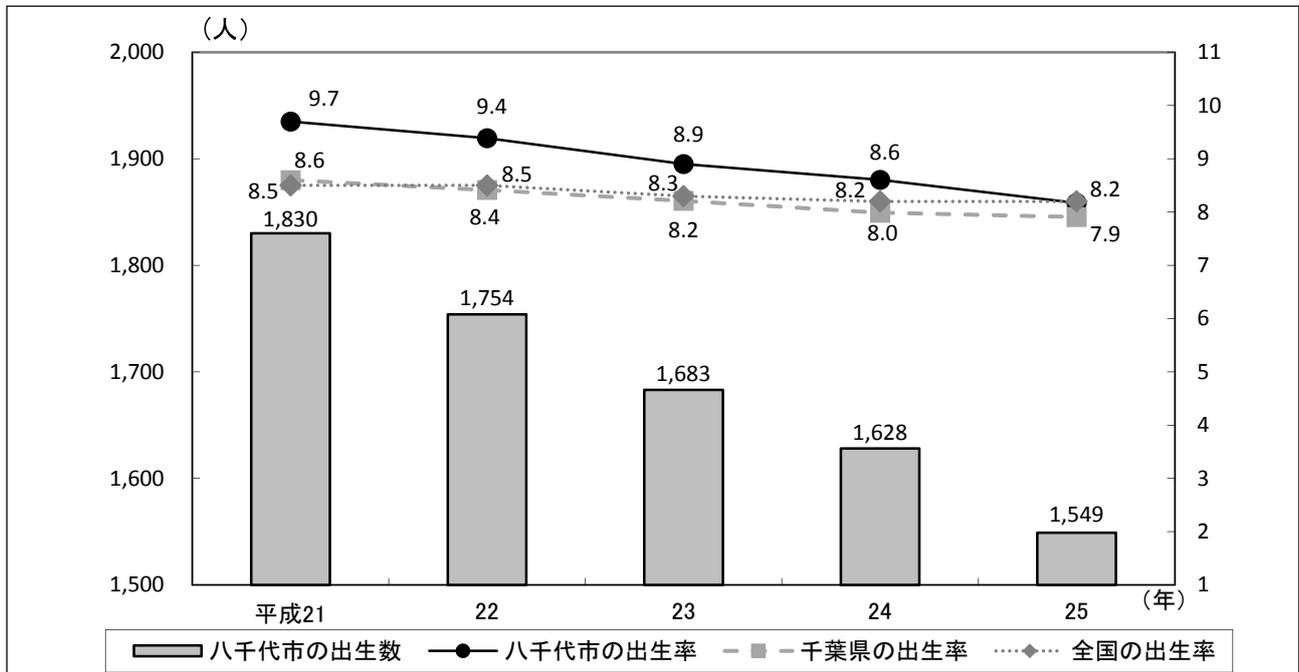


資料：戸籍住民課「住民基本台帳」

4. 出生数等の推移

出生数は、平成21年と比較すると減少傾向にあります。

●出生数・出生率の推移

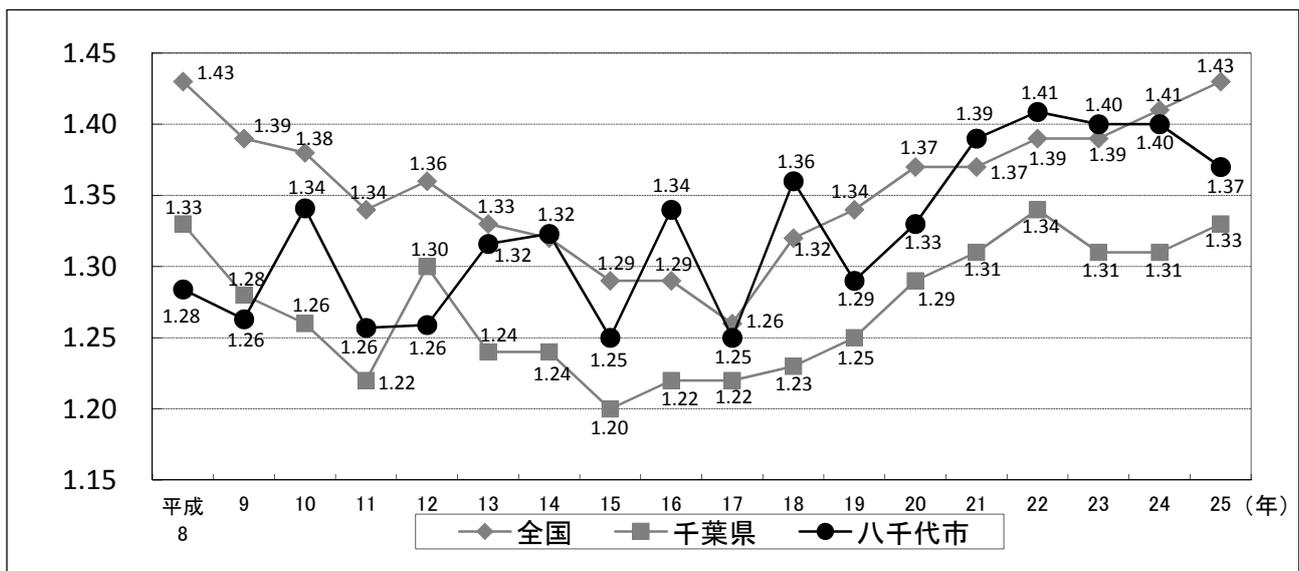


資料：人口動態統計

5. 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率は、概して千葉県よりも高めであり、近年は国と同水準で推移しています。

●合計特殊出生率の推移



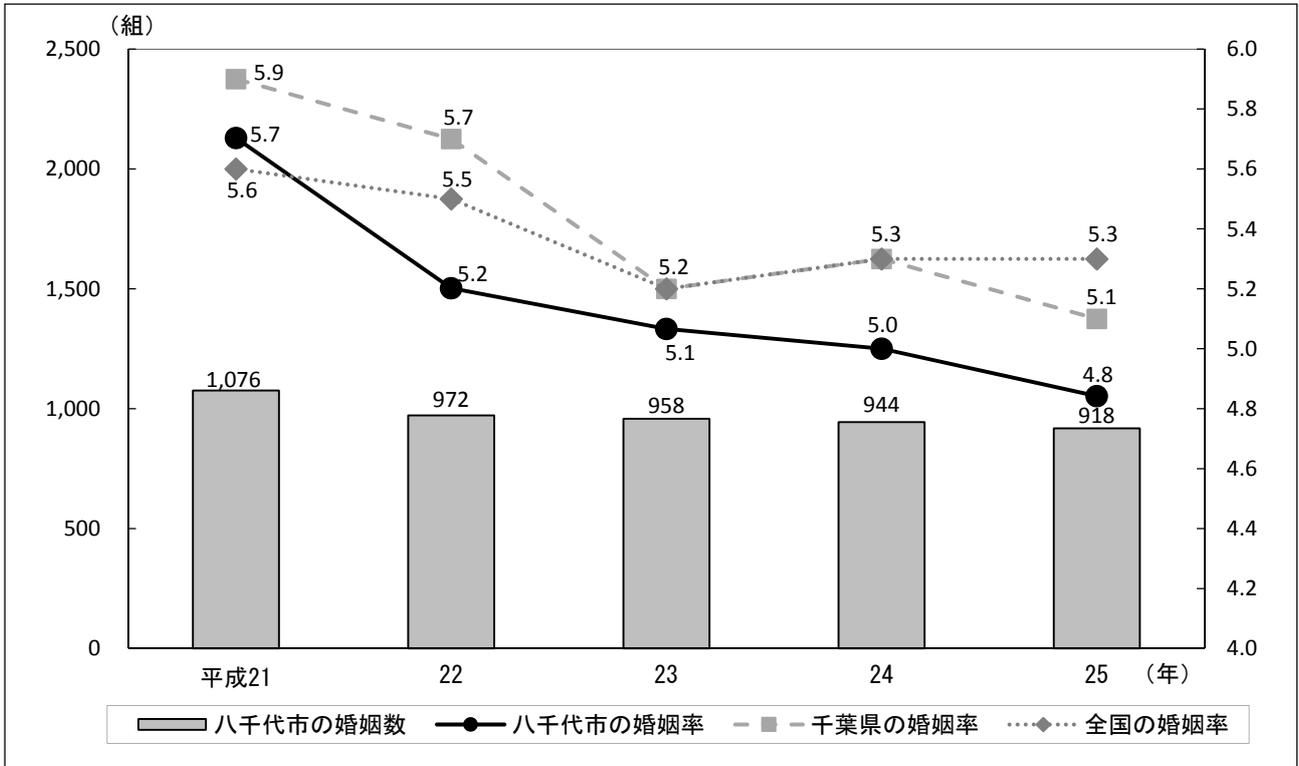
資料：人口動態統計

* 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む平均子ども数を表す。

6. 婚姻の動向（婚姻数・婚姻率・離婚数・離婚率）

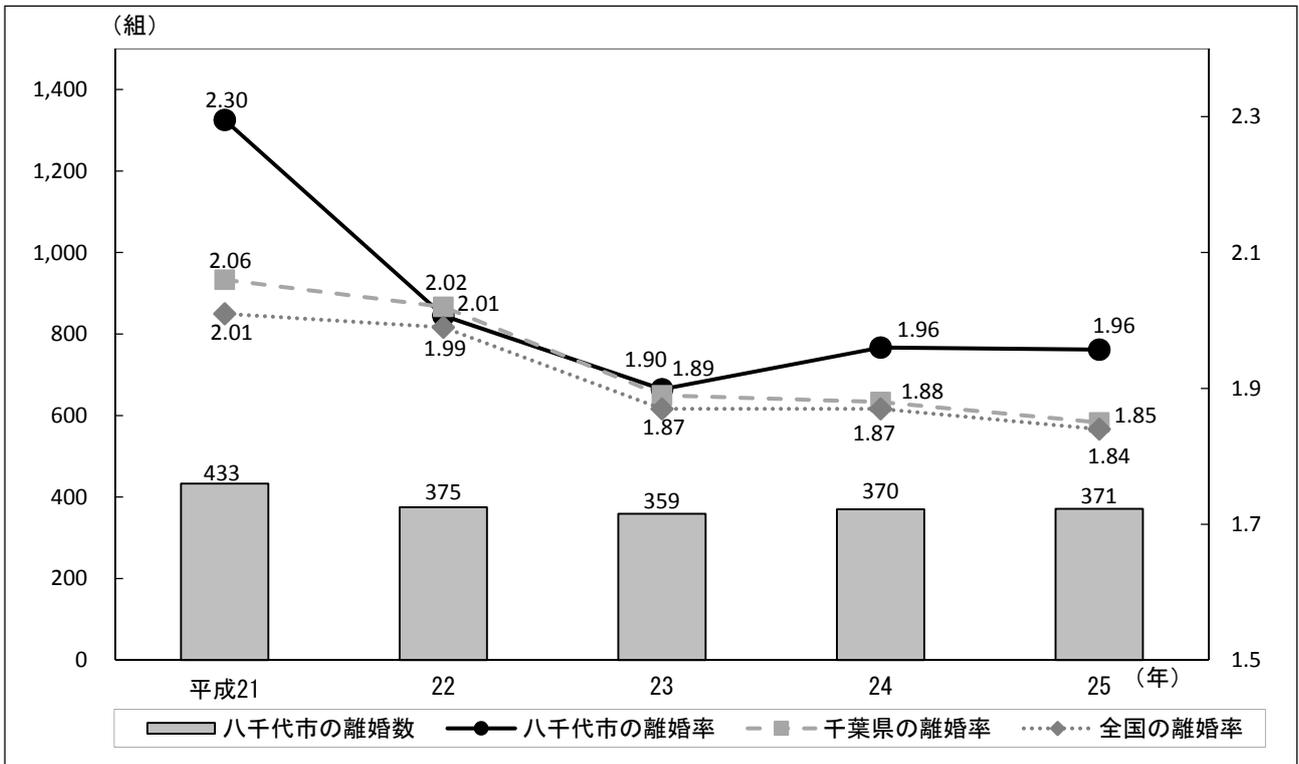
婚姻率は国・千葉県よりもやや低く、離婚率は国・千葉県よりもやや高くなっています。

●婚姻数・婚姻率（人口千対）の推移



資料：人口動態統計

●離婚数・離婚率（人口千対）の推移



資料：人口動態統計

7. 子育て家庭の状況

(1) 母子保健事業の実績

出生数が減少する中、赤ちゃん広場、妊産婦・乳幼児家庭訪問、妊産婦・乳幼児健康相談等の利用者は増加しています。

(単位：人)

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
妊娠届出数	1,874	1,789	1,688	1,647	1,533
出生数	1,838	1,737	1,666	1,635	1,525
新生児訪問	221	193	175	175	245
妊婦健康診査	21,669	21,265	20,047	19,659	17,873
妊婦歯科健康診査	468	468	463	486	477
乳児健康診査	3,324	3,272	3,063	2,915	2,753
マタニティ講座 H24年～プレママ教室(実数)	231	239	222	208	150
マタニティ講座(延数)	400	408	407		
マタニティ広場(実数)	128	119	128	187	128
パパとママの子育て教室(組)	231	227	267	230	177
(延数)	499	463	544	467	361
妊産婦・乳幼児家庭訪問	2,070	1,866	1,926	2,502	2,942
母子保健推進員活動(訪問数)	1,442	1,454	1,266	1,166	1,133
赤ちゃん広場(4か月参加人数)	1,046	1,275	1,283	1,206	1,285
赤ちゃん広場(10か月参加人数)	925	1,272	1,198	1,248	1,218
小さく生まれたお子さんの交流と相談の広場					15
養育医療の対象者					21
妊産婦・乳幼児健康相談	2,922	3,860	3,980	3,878	4,631
妊産婦・乳幼児電話相談	7,184	9,006	11,079	11,200	9,640
栄養の健康教育	644	180	186	452	372
保育園・幼稚園歯みがき教育	972	911	997	1,132	1,470
就学時健診の健康教育	2,058	1,925			
1歳6か月児健康診査	1,629	1,778	1,679	1,598	1,545
1歳6か月児歯科健康診査	1,470	1,502	1,440	1,337	1,319
2歳6か月児歯科健康診査	796	723	666	695	663
3歳児健康診査	1,603	1,659	1,620	1,629	1,657
3歳児歯科健康診査	1,320	1,231	1,260	1,187	1,226

資料：母子保健課

* マタニティ広場は地域子育て支援センターが実施する。

* 平成21年度は新型インフルエンザの拡大防止の為に10月中旬から12月にかけて、マタニティ講座広場・パパとママの子育て教室、赤ちゃん広場(4か月児・10か月児)を中止した。

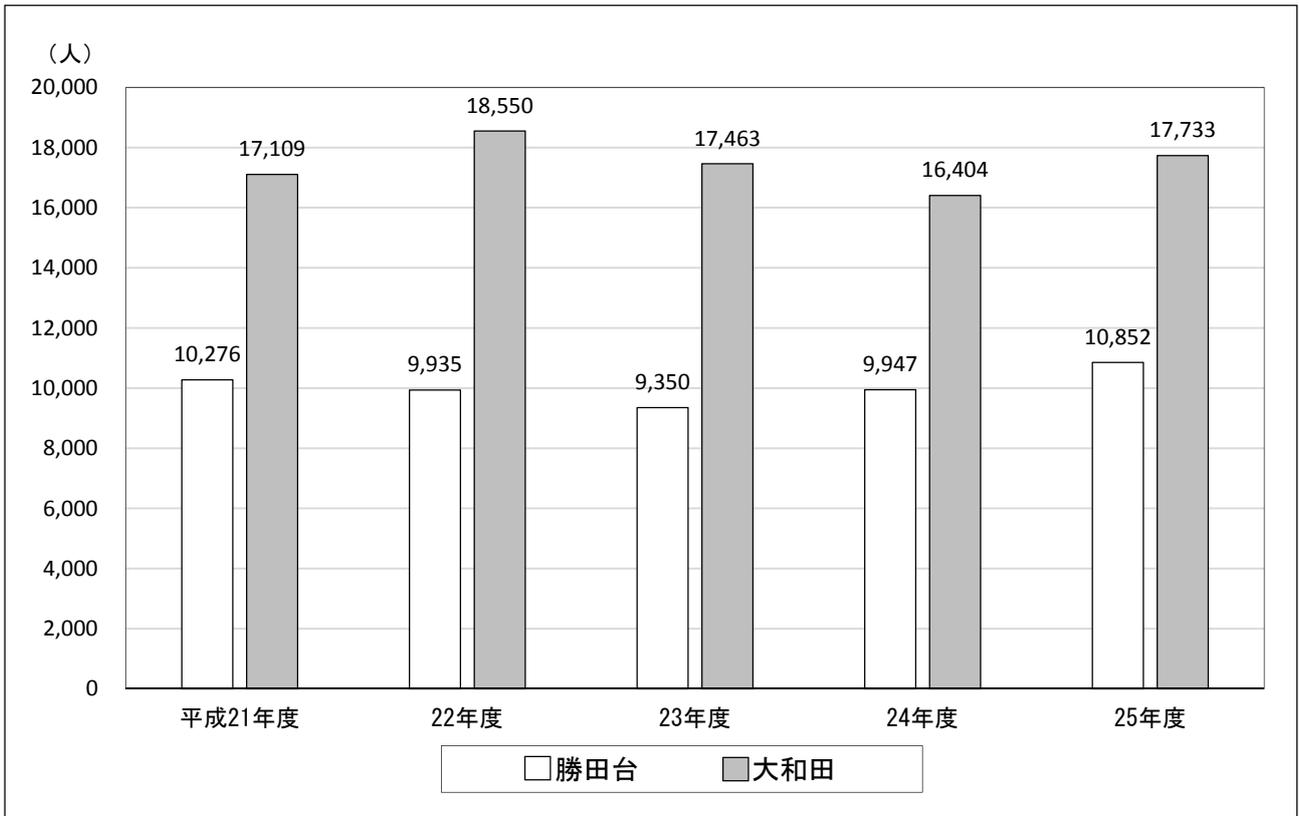
* 平成22年度は3月11日の東日本大震災後、マタニティ講座2課、パパとママの子育て教室、4か月児・10か月児赤ちゃん広場等事業を中止した。

* 出生数は、戸籍住民課(管理班)人口動態の数を使用した。

(2) 子ども支援センターすてっぷ21の利用状況

利用状況は、平成21年度と平成25年度を比較するとほぼ横ばいとなっています。

(単位：人)

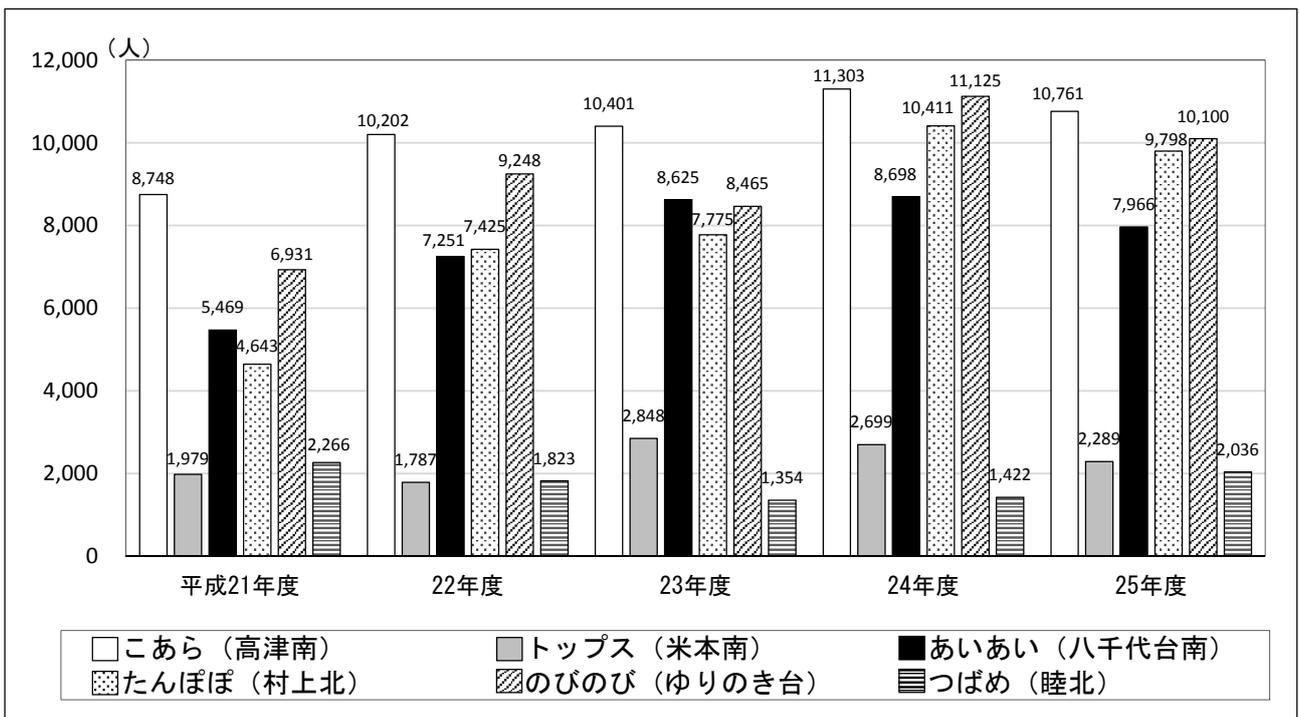


資料：子育て支援課

(3) 地域子育て支援センターの利用状況

利用状況は、平成21年度と平成25年度を比較すると全体として増加傾向にあります。

(単位：人)

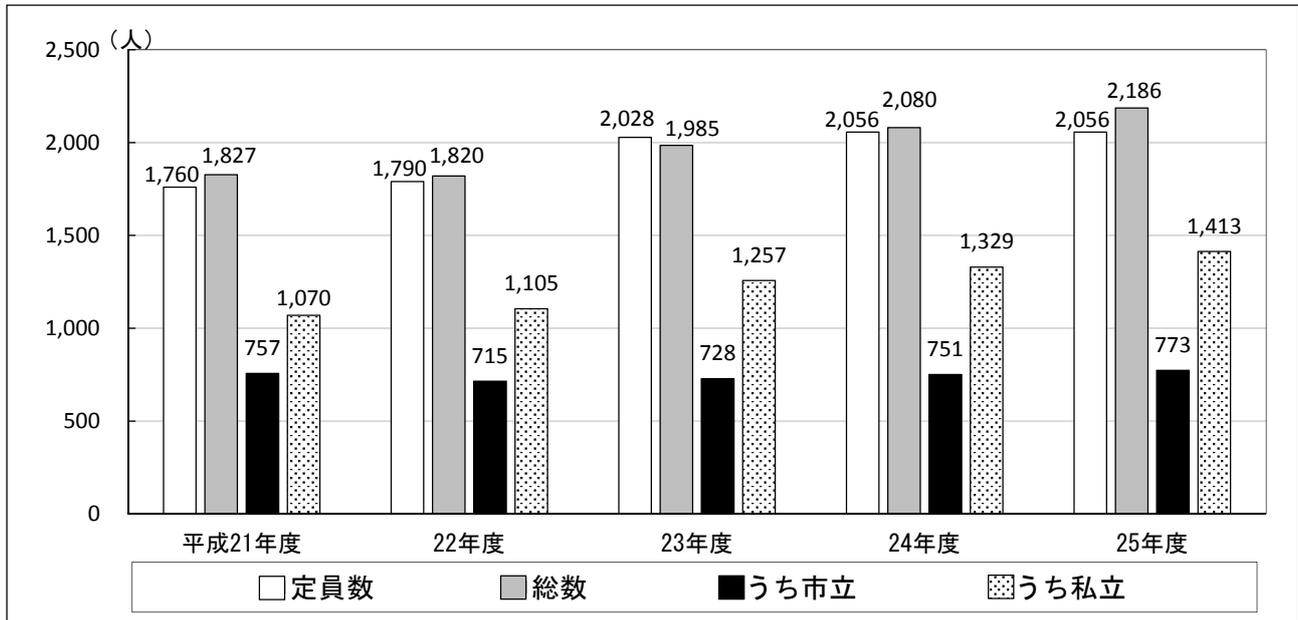


資料：子育て支援課

(4) 保育園等の定員、総数 (21 施設)

定員数は平成 21 年度以降、平成 24 年度まで増加していますが、入園児数も増加しており、特に私立保育園の入園児数に増加が見られます。

(各年 4 月 1 日現在)



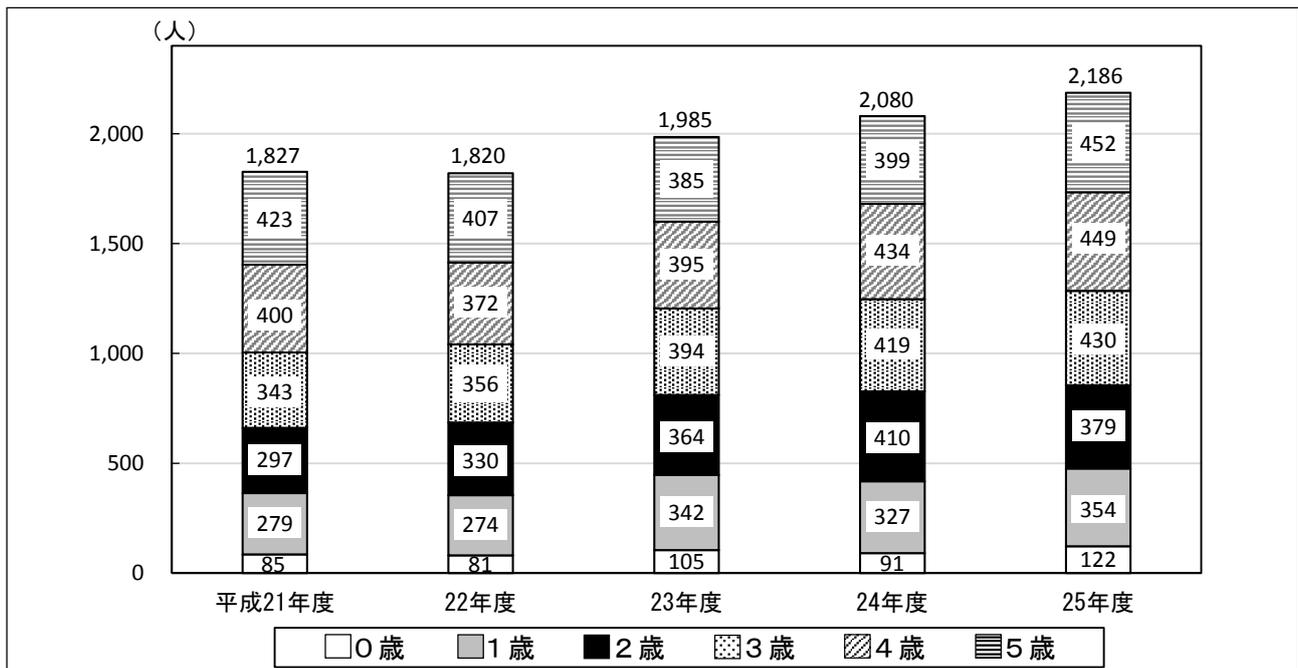
資料：子育て支援課

* 人数は市内在住であり、市内保育園に通園する児童数（管外委託・受託含まず）

(5) 保育園等の入園児数 (21 施設)

平成 21 年度から5年間の推移を見ると、年度によっては減少した年齢もありますが、平成 21 年度と平成 25 年度の比較では、どの年齢の入園児数も増加傾向にあり、特に0歳児の増加が大きくなっています。

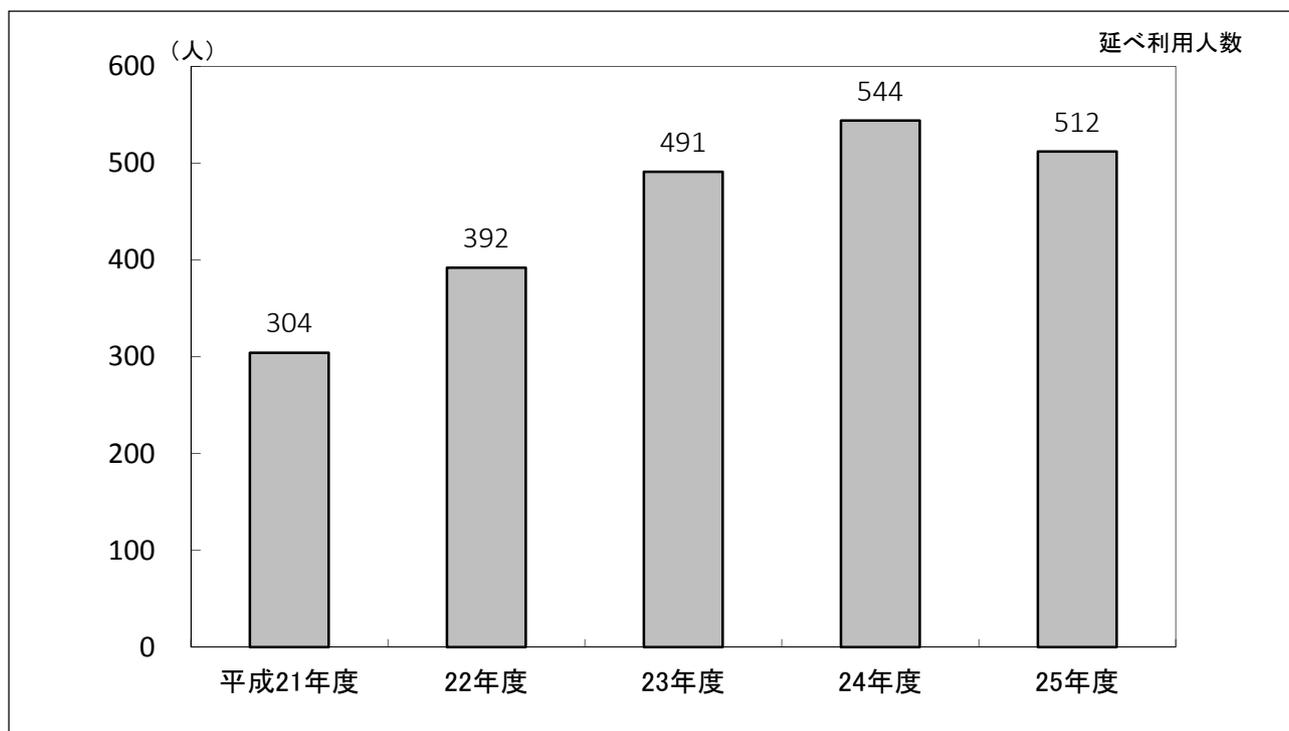
(各年 4 月 1 日現在)



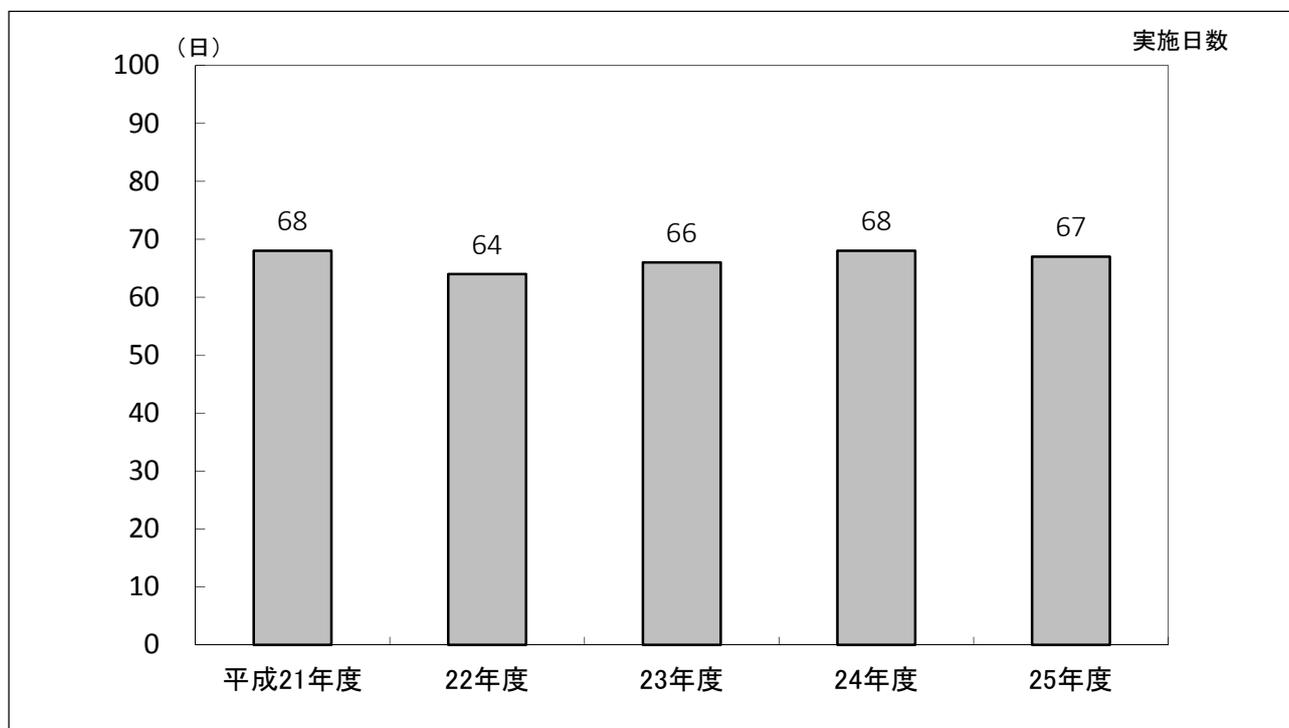
資料：子育て支援課

(6) 保育園の休日保育事業の実施状況

平成21年度以降1日の平均利用人数は増加してきましたが、平成25年度においては、微減となっています。



資料：子育て支援課

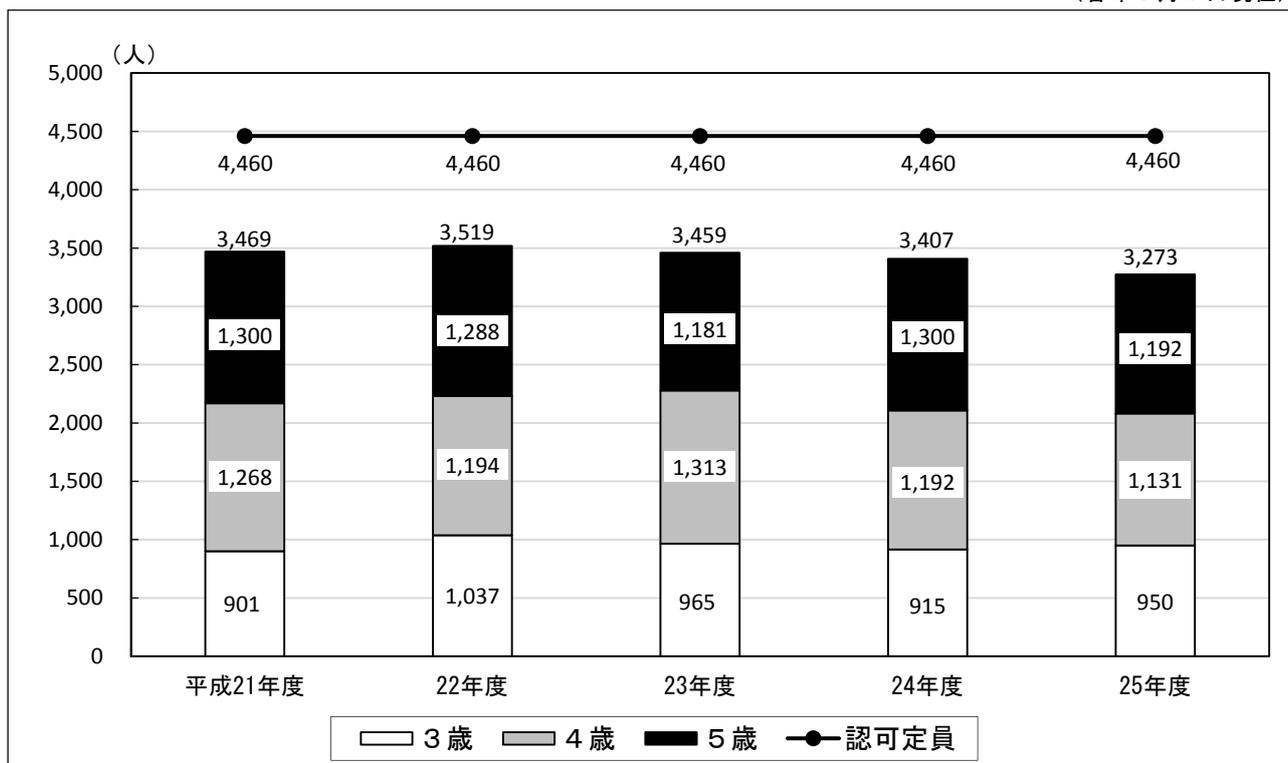


資料：子育て支援課

(7) 私立幼稚園等の定員と年齢別在園児（18施設）

平成21年度以降、認可定員に増減はありませんが、在園児は、平成23年度以降、減少傾向にあります。

(各年5月1日現在)



資料：元気子ども課

(8) 小中学校の児童数等の推移

平成21年度以降、小学校の児童数は減少傾向、中学校の生徒数は増加傾向にあります。

(単位：人)

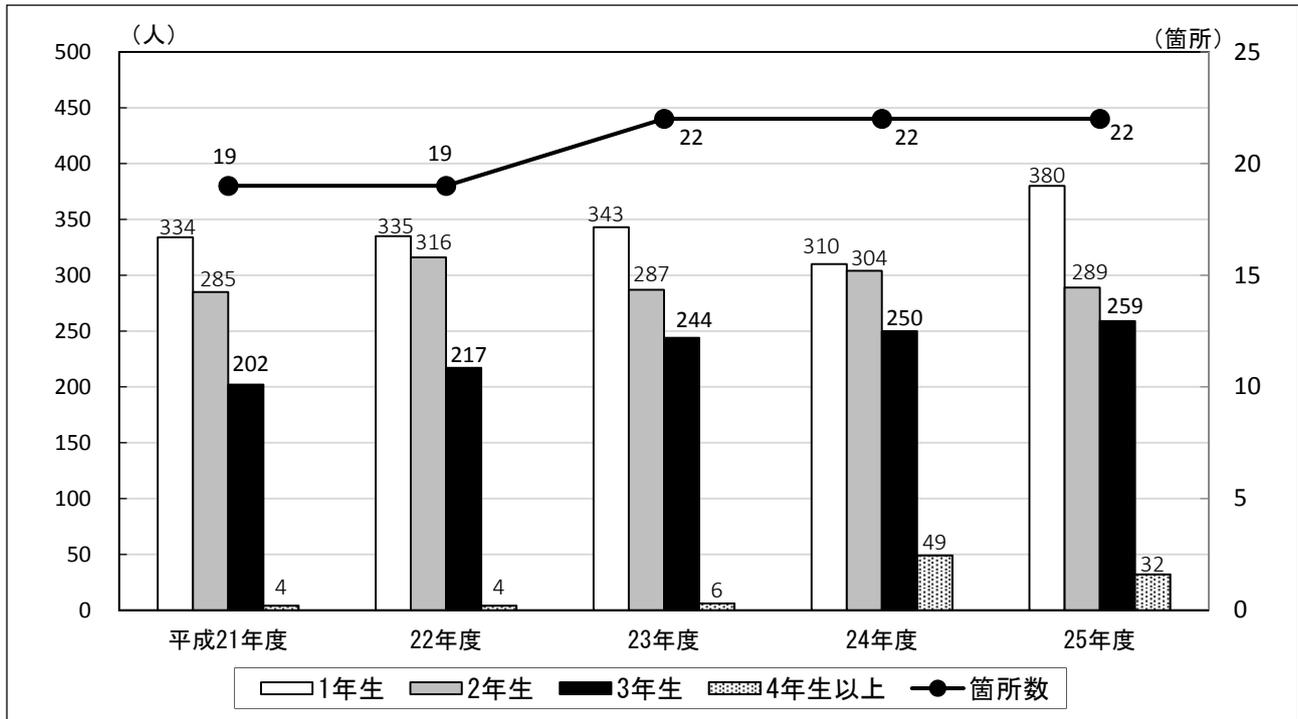
学校名	平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	学級数	特学級数	児童・生徒数												
1 大和田小学校	24	2	778	24	2	778	22	2	739	24	2	713	24	1	735
2 睦	12		306	12		307	12		292	12		273	10		270
3 阿蘇	6		124	6		114	6		115	6		104	6		104
4 村上	30		994	30		982	30		932	28		894	26		841
5 八千代台	13	4	413	12	4	412	13	4	411	17	4	425	18	4	438
6 八千代台東	13		374	12		389	12		383	12		372	19		567
7 八千代台西	13		355	13		367	12		382	12		361	12		361
8 勝田台	17		555	20		600	21		652	22		690	22		700
9 勝田台南	10	3	252	10	2	267	10	2	287	13	2	304	14	2	330
10 米本	9		205	7		204	7		178	6		155	6		150
11 米本南	7	3	220	6	3	193	6	3	184	9	3	163	8	2	152
12 西高津	18		486	18		489	18		497	17		501	17		495
13 大和田南	18		601	19		600	19		613	19		620	19		624
14 高津	19	2	605	19	2	631	19	3	616	22	2	633	24	3	661
15 南高津	12		325	12		316	12		301	12		307	12		296
16 村上東	25		790	25		786	26		796	26		810	26		828
17 八千代台東第二	10		252	10		252	9		225	9		220			
18 大和田西	33		1,141	34		1,162	34		1,145	33		1,105	33		1,120
19 村上北	6	2	142	6	2	155	6	3	157	9	3	159	8	2	173
20 新木戸	39		1,310	30		964	28		923	26		849	25		837
21 萱田	30		1,012	30		1,032	30		1,041	31	1	1,050	31	1	1,024
22 萱田南	21		666	20		660	20		643	19		610	19		594
23 みどりが丘				12		343	12		326	12		299	12		306
小計	385	16	11,906	387	15	12,003	384	17	11,838	396	17	11,617	391	15	11,606
1 八千代中学校	11	3	403	10	3	367	11	3	385	13	3	362	17	5	389
2 睦	5		145	6		153	6		155	6		148	6		140
3 阿蘇	9	1	270	9	1	267	10	1	253	10	1	254	9	1	230
4 勝田台	10	2	334	10	2	344	10	3	331	12	3	343	11	2	346
5 大和田	19		721	21		778	24		859	24		858	23		835
6 高津	22	1	773	23	1	808	23	1	822	25	1	866	25	1	875
7 八千代台西	12		394	11		362	11		356	11		354	12		371
8 村上東	12		390	12		404	12	1	410	13	1	405	13	1	407
9 東高津	9		283	9		277	9		298	9		278	9		280
10 村上	12		414	12		413	12		430	13		429	13		427
11 萱田	18		631	19		680	20		745	21		819	22		830
小計	139	7	4,758	142	7	4,853	148	9	5,044	157	9	5,116	160	10	5,130

資料：教育委員会学務課

(9) 学童保育所入所状況

平成 23 年度に 3 箇所の増設を行い、現在は 22 学童保育所です。1 年生の入所が平成 25 年度には大きく増加しています。

(各年 4 月 1 日現在)

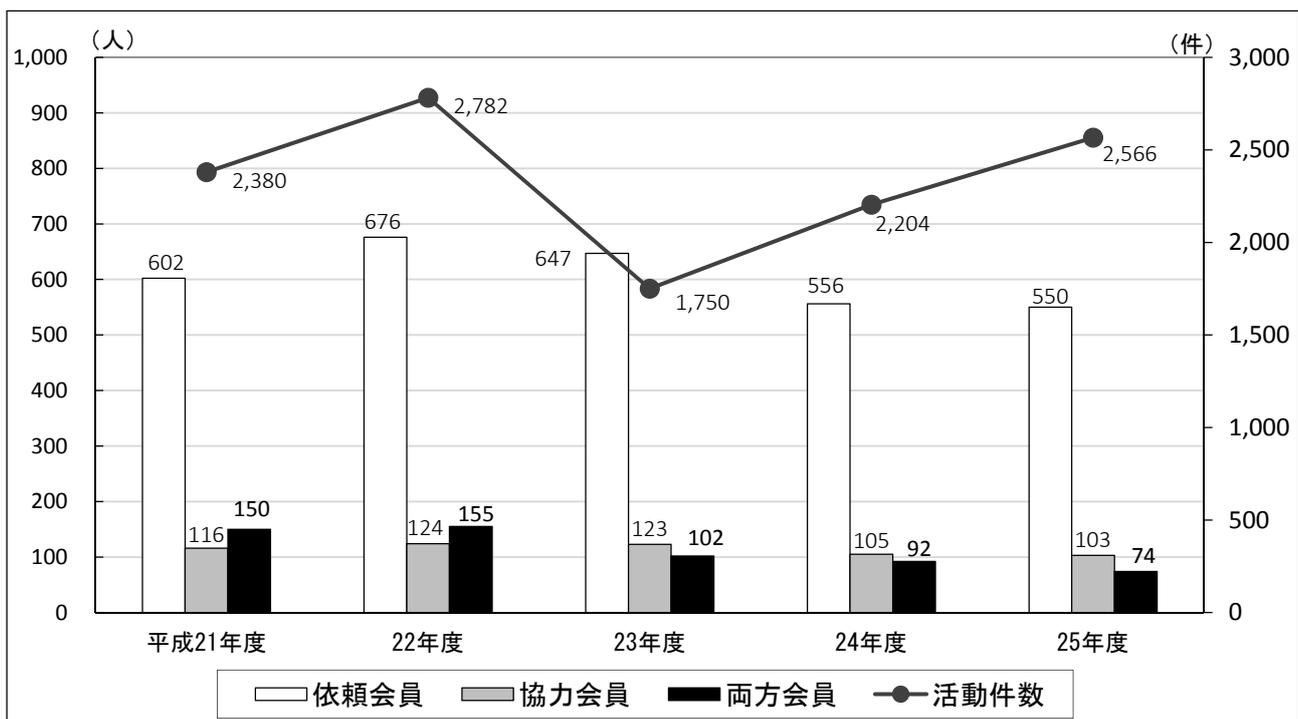


資料：子育て支援課

(10) ファミリー・サポート・センターの会員数及び活動件数の推移

協会員、両方会員よりも依頼会員が高い割合を占めています。平成 23 年度以降、依頼会員、協会員、両方会員とも、減少傾向が見られます。

(各年度末現在)



資料：子育て支援課

8. ひとり親世帯の状況

(1) 児童扶養手当支給状況

受給資格者数、受給者数とも増加傾向にありましたが、平成25年度には減少が見られます。

(各年度末現在)

	受給者(人)		全部支給停止者 (人)	受給資格者数 (人)	年度支払金額 (円)
	全部支給	一部支給			
平成21年度	506	531	141	1,178	460,530,960
平成22年度	550	625	120	1,295	473,164,730
平成23年度	573	605	122	1,300	509,291,050
平成24年度	586	604	128	1,318	510,925,250
平成25年度	543	639	122	1,304	506,727,820

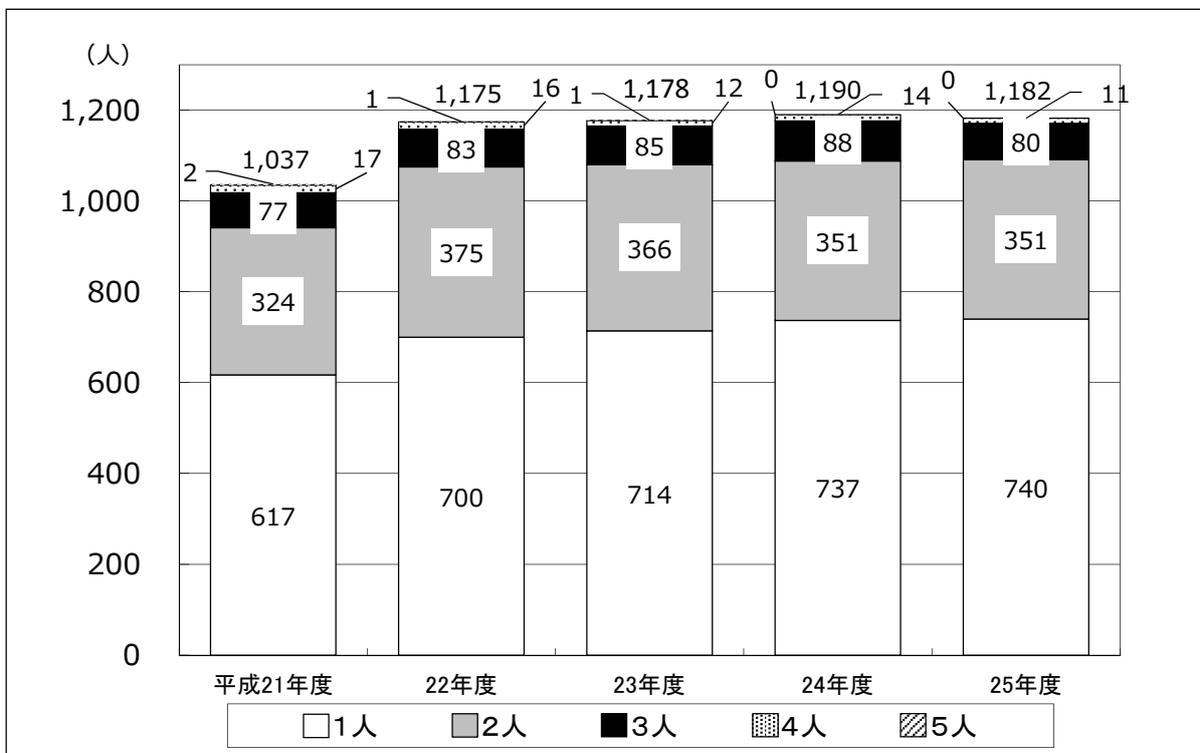
資料：子育て支援課

(2) 児童扶養手当の受給対象児童数の推移

受給対象児童数は平成22年度以降ほぼ横ばいで推移しており、受給対象者が監護または養育している児童数は、「1人」が最も多くなっています。

各年度末現在(単位：人)

	1人	2人	3人	4人	5人	合計
平成21年度	617	324	77	17	2	1,037
平成22年度	700	375	83	16	1	1,175
平成23年度	714	366	85	12	1	1,178
平成24年度	737	351	88	14	0	1,190
平成25年度	740	351	80	11	0	1,182



資料：子育て支援課

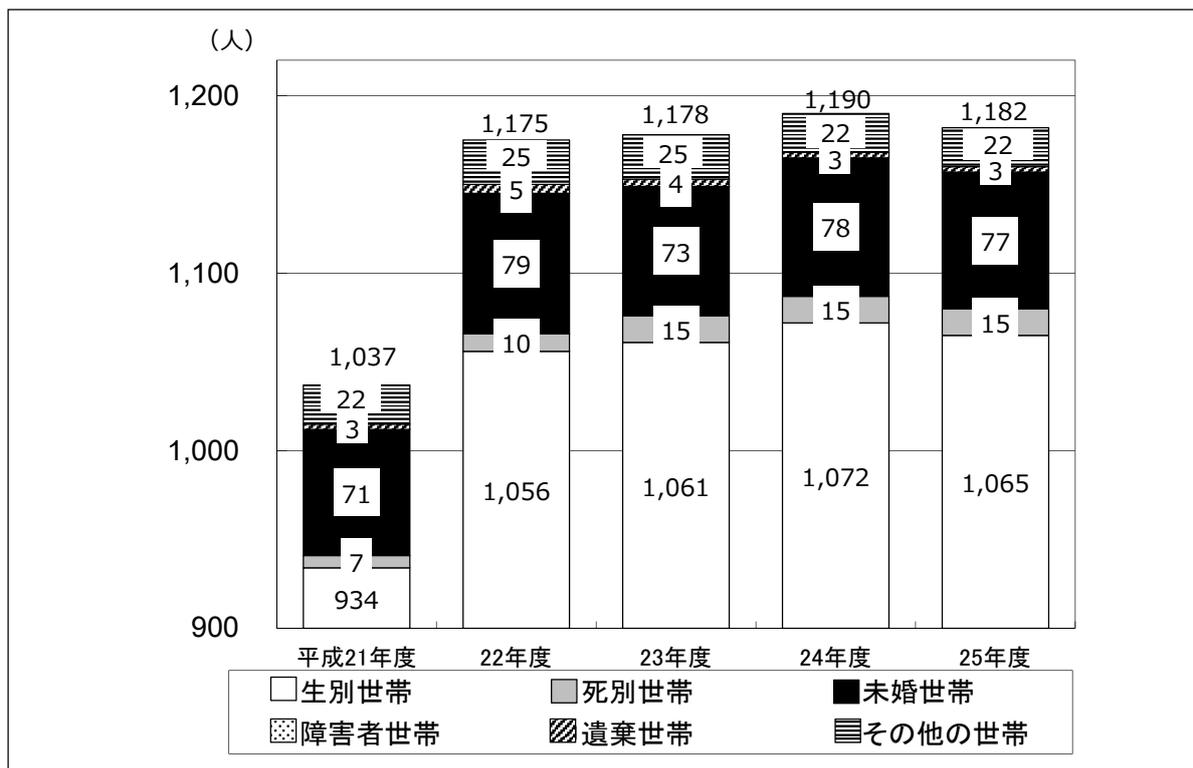
* 受給対象児童数は、受給対象者が監護または養育している児童数

(3) 児童扶養手当の受給理由の推移

受給理由は、「生別世帯」が最も多くなっています。受給理由毎の受給対象児童数には、ほとんど変化がありません。

各年度末現在（単位：人）

	生別世帯	死別世帯	未婚世帯	障害者世帯	遺棄世帯	その他の世帯	合計
平成21年度	934	7	71	0	3	22	1,037
平成22年度	1,056	10	79	0	5	25	1,175
平成23年度	1,061	15	73	0	4	25	1,178
平成24年度	1,072	15	78	0	3	22	1,190
平成25年度	1,065	15	77	0	3	22	1,182



資料：子育て支援課

* 平成22年8月より父子家庭も受給対象となった。

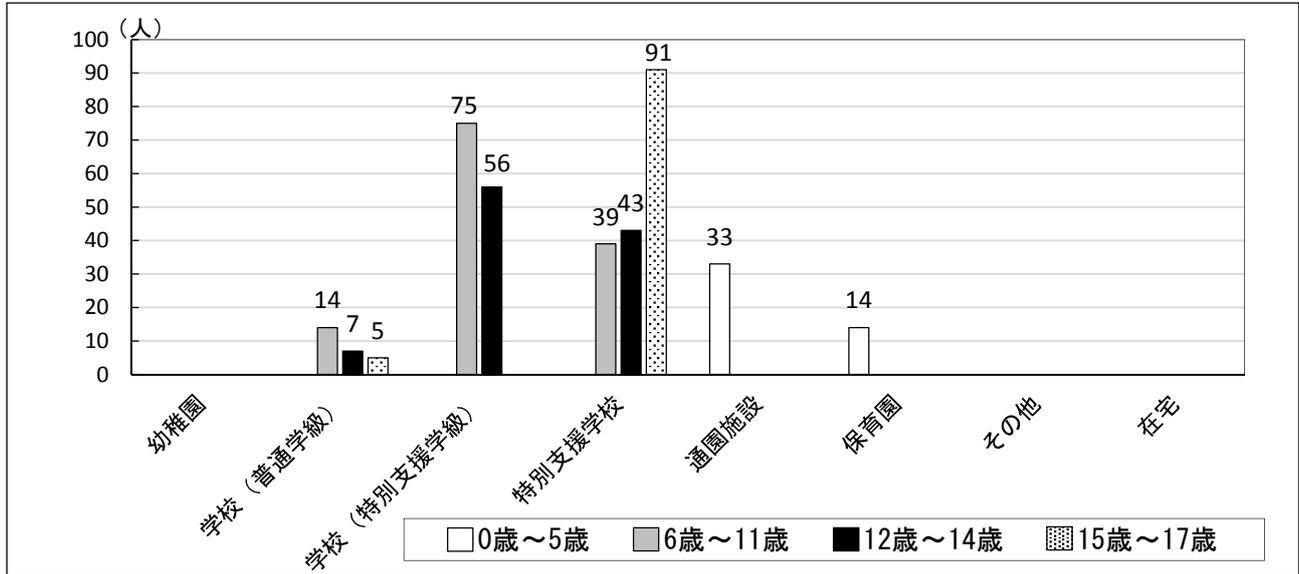
* 平成24年8月より支給要件に「父又は母が裁判所からのDVによる保護命令を受けた子ども」が加わった。

9. 心身障害児の現況

(1) 知的障害児（療育手帳所持児）の入所状況

児童が一番多く通園・通学しているのは、0から5歳までが通園施設、6から14歳までが学校内の特別支援学級、15から17歳までが特別支援学校となっています。

(平成26年4月1日現在)



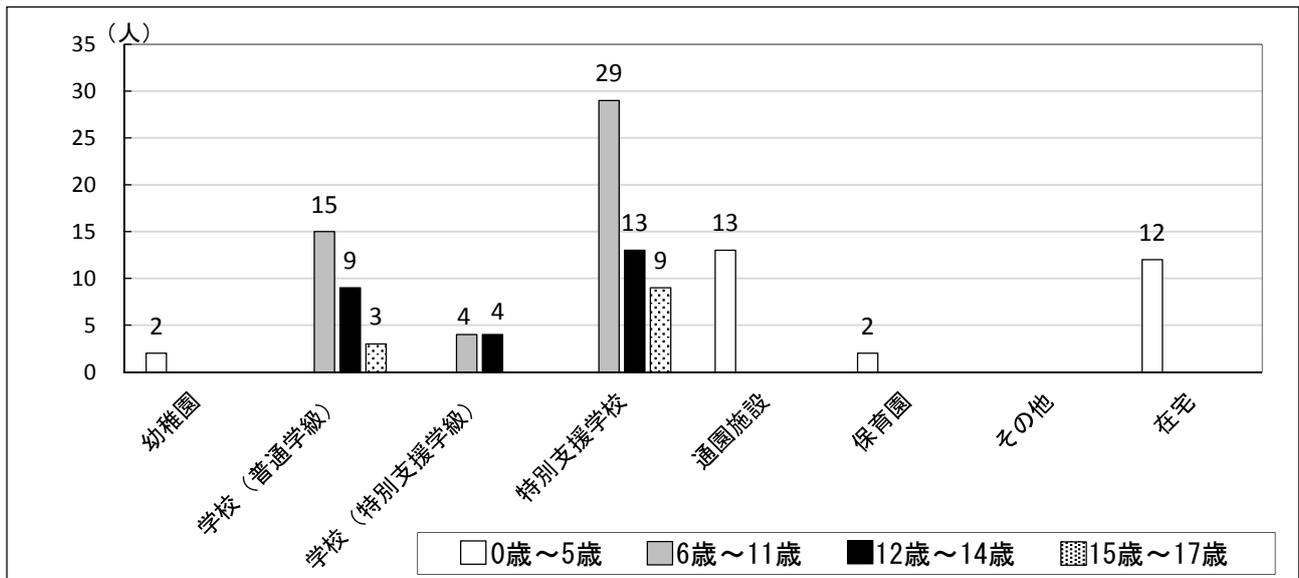
資料：障害者支援課

*「入所施設」以外は全て在宅の状況

(2) 身体障害児の入所状況

児童が一番多く通園・通学しているのは、0から5歳までが通園施設、6から17歳までが特別支援学校となっています。

(平成26年4月1日現在)



資料：障害者支援課

*「入所施設」以外は全て在宅の状況

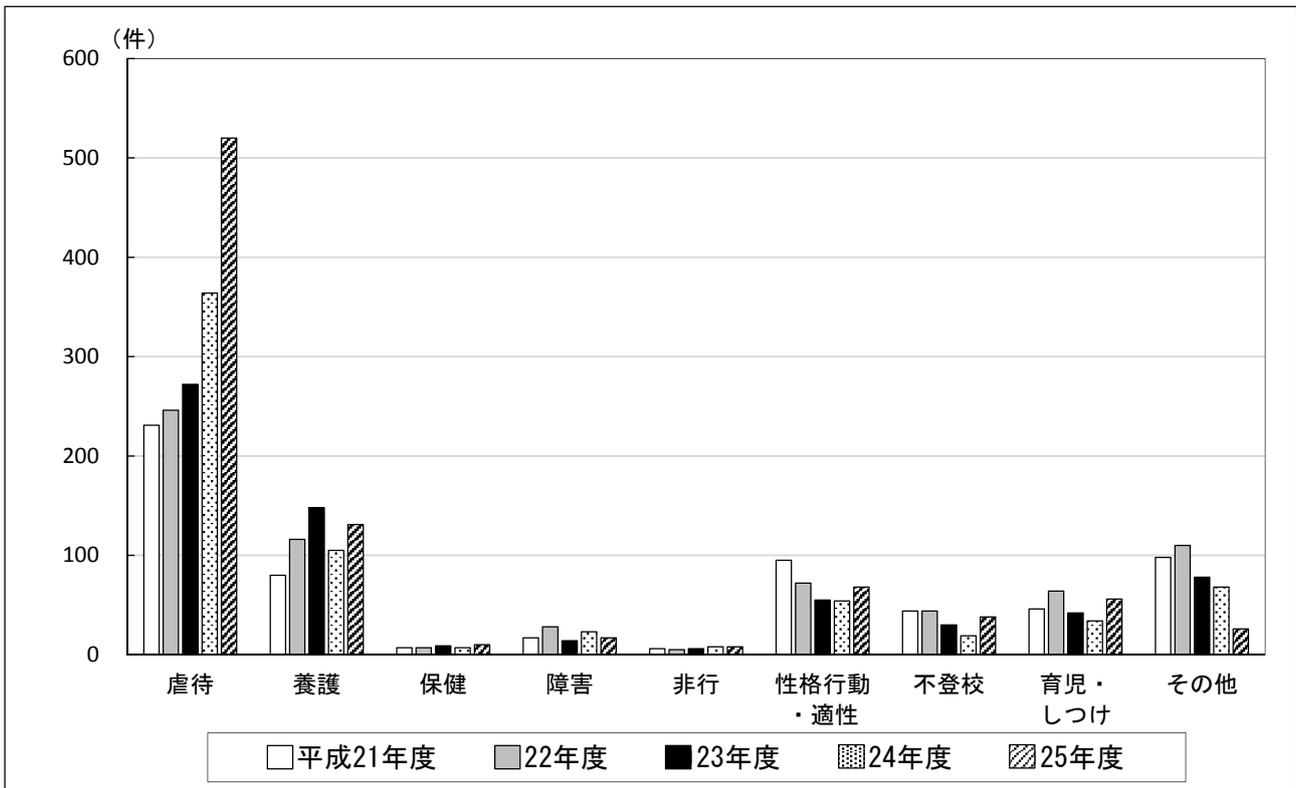
10. 相談に関する状況

(1) 子ども相談センターにおける相談件数

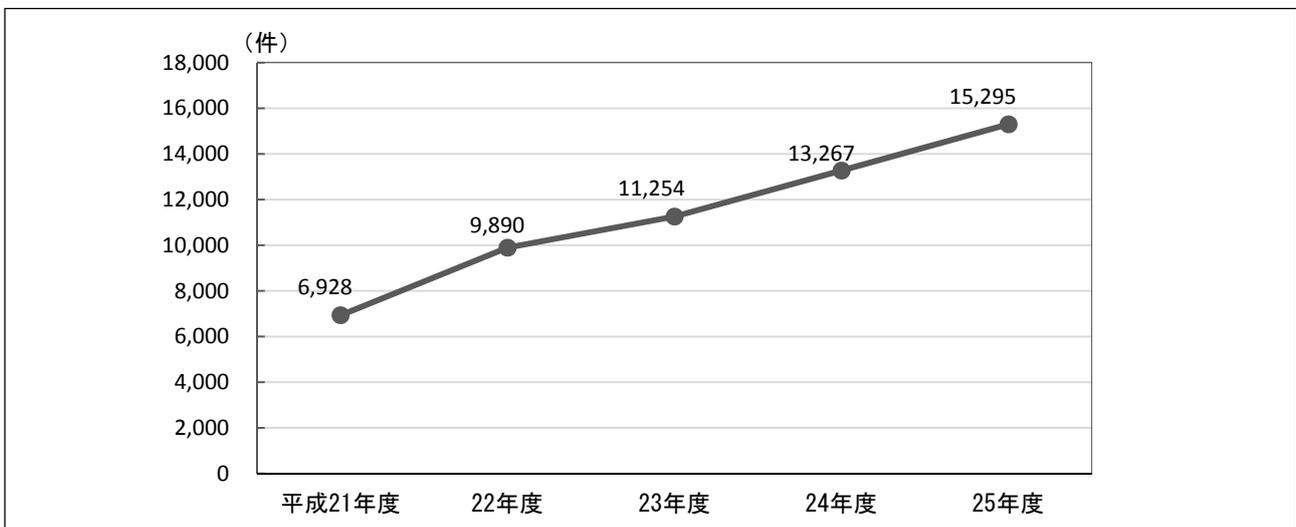
平成23年度以前も増加傾向にありましたが、平成24年度以降、虐待に関する相談件数が大きく増加しています。

(単位：件)

	虐待	養護	保健	障害	非行	性格行動・適性	不登校	育児・しつけ	その他	計
平成21年度	231	80	7	17	6	95	44	46	98	624
平成22年度	246	116	7	28	5	72	44	64	110	692
平成23年度	272	148	9	14	6	55	30	42	78	654
平成24年度	364	105	7	23	8	54	19	34	68	682
平成25年度	520	131	10	17	8	68	38	56	26	874



延べ対応件数

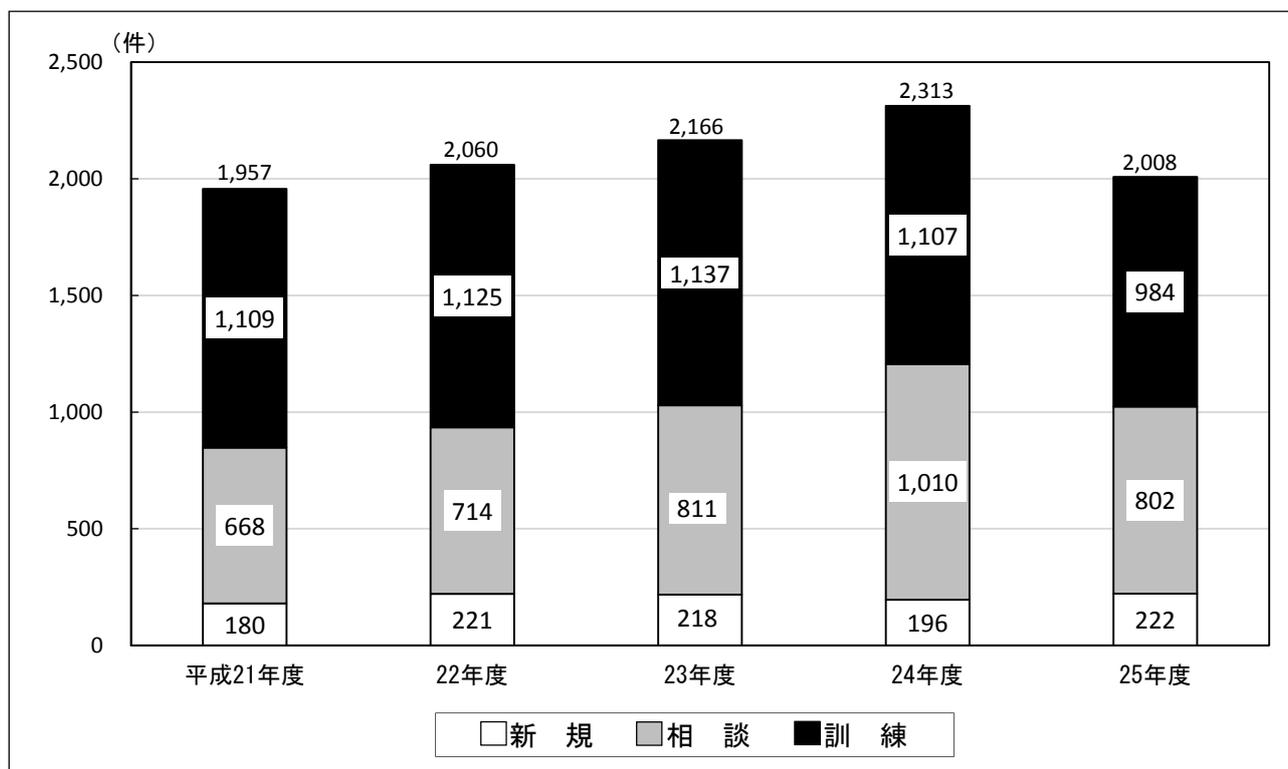


資料：元気子ども課（子ども相談センター）

(2) ことばと発達の相談室における面接件数

面接件数は、対平成21年度比で増加しています。

(単位：件)



資料：障害者支援課（児童発達支援センター）

(3) 適応支援センターフレンド八千代の通所状況

年間通所延べ人数、1日平均通所人数は増加傾向にあります。

	小学生		中学生		年間通所 日数	年間通所 延べ人数	1日平均 通所人数
	男子(人)	女子(人)	男子(人)	女子(人)			
平成21年度	1	1	6	15	191	1,327	6.9
平成22年度	2	4	12	15	193	2,019	10.5
平成23年度	3	6	16	14	194	2,013	10.4
平成24年度	4	1	17	14	195	2,375	12.2
平成25年度	5	3	12	17	192	2,641	13.8

資料：教育委員会指導課（適応支援センターフレンド八千代）

(4) 教育相談の状況

相談件数は、70～90件程度で推移しています。内訳は電話での相談が最も多くなっています。

(単位：件)

	相談件数	内訳		
		電話	面談	メール
平成21年度	70	66	4	0
平成22年度	83	82	1	0
平成23年度	68	58	10	0
平成24年度	91	69	22	0
平成25年度	77	56	21	0

資料：教育委員会指導課（教育センター）

(5) 青少年の相談件数と内容

生活の乱れに関する相談件数が、最も多くなっています。

(単位：件)

	年度	学生								有職少年		無職少年	
		小学生		中学生		高校生		その他		男	女	男	女
		男	女	男	女	男	女	男	女				
生活の乱れ	平成21												
	平成22	2		1								4	
	平成23	1	1	6		1							
	平成24			1	6	1							
	平成25				2	1	1						
いじめ	平成21						1						
	平成22												
	平成23												
	平成24												
	平成25			1									
薬物乱用	平成21												
	平成22												
	平成23												
	平成24												
	平成25												
不登校	平成21			1			1						
	平成22												
	平成23		1										
	平成24												
	平成25												
無断外泊	平成21												
	平成22												
	平成23												
	平成24				2	1							
	平成25												
家出	平成21												
	平成22												
	平成23					1	1				1		
	平成24				2								
	平成25												
金銭トラブル	平成21												
	平成22												
	平成23												
	平成24												
	平成25												
その他	平成21					1					1		
	平成22												1
	平成23			4	1	2				1			
	平成24			2	3		2				1		
	平成25	2	1	3	3	5				1			1

資料：教育委員会指導課（青少年センター）

*「薬物乱用」は、平成23年度までは「シンナー等の乱用」として集計。